

# HUMANNO

Vol.5



## CONTENTS

- 会員インタビュー ①
- 特徴的な活動 ③
- 中華人民共和国駐日本国大使館へ新型コロナウイルスによる被害に対する募金 ④
- 国際的な活動 ⑤
- 都道府県IYEOの魅力的な活動 ⑦
- 会長挨拶・IYEO活動方針 ⑨
- IYEO組織構成 ⑪
- 事後活動研修制度の運用について ⑬
- IYEOへのサポート ⑮

### 共生社会の実現を目指して

## IYEOの活動を支援して下さる方 及び 一緒に活動して下さる方を募集しています!

日本青年国際交流機構 (IYEO) は、共生社会の実現に向けて、社会に貢献できる団体として発展していきたいと考えています。そのためには、全国組織としてのIYEO活動や都道府県IYEOの活動の充実、関係者及び新しいパートナーとの連携、国内外ネットワークの活用、効果的な情報交換などを通して、国際交流を切り口に次世代のリーダーの育成を継続していくことが重要です。IYEOが今後活動を発展させていくために、皆さんのサポートをお願いします!



### IYEO活動へのご支援のお願い(寄付)

- IYEO活動は、自主事業による収益の他、皆様からのご寄付によって支えられています。いただいた寄付は、当機構で実施する活動にあてられ、その報告は広報誌及びウェブサイトでご覧になれます。
- 寄付は、一口1,000円から何口でも承ります。IYEOはボランティアの任意団体です。そのため、寄付金控除の対象ではありませんことをご了承ください。

**活動活性化のための寄付 ~IYEO組織基盤作りのために~**

<ゆうちょ銀行>  
加入者名: 日本青年国際交流機構  
口座番号: 10110-49317621

<他行から振込>  
銀行名: ゆうちょ銀行  
店番号: 018(ゼロイチハチ)  
預金種目: 当座  
口座番号: 4931762  
口座名: 日本青年国際交流機構

寄付の際には、Email (iyeobokin@iyeo.or.jp) にて、以下についてご連絡をお願いします。  
1.氏名 2.参加事業名 3.事業参加年度 4.ホームページ寄付者名記載希望 5.住所 6.電話番号 7.メールアドレス

### IYEO入会のご案内

- 「次世代リーダーを育成し、地域活性化・国際社会へ貢献する」というIYEOの活動目的に賛同いただける方は、私たちと一緒に活動しませんか?
- 会員には、年1回広報誌の送付、通年メーリングリストによる情報提供を致します。
- 正会員、一般会員、賛助会員、団体会員の種別があります。申込みについてはIYEO事務局へお問合せください。
- IYEO事務局 secretariat@iyeo.or.jp

**アイデア大募集!**

HUMANNOやIYEOのウェブサイト等に「この取組みを掲載してほしい!」というアイデアを募集しています。皆さんの取り組んでいる活動を紹介させてください!

### 「青年の船」第1回参加青年 奥野照義さん

内閣府青年国際交流事業に参加した青年に、事業を終えてどのような活動をしているか、事業をきっかけに変わったことを紹介します。今回は特別編として、「世界青年の船」の前身である「青年の船」の第1回に参加された奥野照義さんにインタビューさせていただきました。



聞き手：(左から)中谷ひなの(SWY32)、仲間明子(SWY29)(広報担当幹事)  
(右から)佐々木梓乃(SWY31)

奥野 照義さん

1968年第1回「青年の船」事業参加青年、1978年にはリーダーとして乗船。参加後も、1968年初代「青年の船の会」会長、日本青年国際交流機構(IYEO)顧問として事業の発展に尽力されました。また、トンガ王国駐日代表や仕事で台湾駐在など、「青年の船」をきっかけにして日本そして世界を舞台に活躍されました。

### 1.「青年の船」とは？

1968年(昭和42年度)に明治100年記念事業の一つとして開始された事業。日本の若者が自力で海外へ行くことが非常に困難だった時代に、政府が主体となって日本青年を海外に派遣するという、日本国中の青年に大きな夢と希望を与えた事業であった。初めは日本人のみが参加していたが、事業開始から6年後、外国青年も乗船するようになる。更に、時代の変化に伴い1988年度(昭和63年度)「青年の船」事業から「世界青年の船」事業に発展。世界中の外国青年との交流を主とし、ディスカッションなども取り入れ、事業内容が更に進化した。

### 2.当時の様子

▼事業を知ったきっかけは何でしたか？

→新聞の報道で知りました。実は第1回「青年の船」は、「男女参加」の政府の方針に異議を唱える動きがあったのです。若い男女が船のような閉鎖された空間で、2か月間も過ごすことはネガティブに捉えられていたからです。そこで、青少年団体が中心となり「女性を乗せない青年の船」に反対の声をあげ、それをマスコミが取り上げて「社会問題」になりました。その結果女性の応募者数も激増し、東京都の女性の応募倍率は150倍にも及んだそうです。更には、「さくら丸」の出航まで各紙でカウントダウンもされ、「青年の船フィーバー」が起きました。

▼当時の事業はどのようなプログラム内容だったのでしょうか？

→現在の事業と比べると、とにかくタイトなスケジュールでした。船内では、毎日社会教育関係のエキスパートや大学教授等による7時間の授業に加え、余暇時間には、クラブ活動がありました。授業では、国際政治や経済、心理学など幅広い分野を学びました。かなり高度な内容でしたが、船内での学びはその後の人生において大いに役立つ内容でした。

▼参加当時の思い出で特に印象に残っているものはありますか？

→私は旗手として団旗つまり日本国旗を持つ役割を得ました。当時の佐藤栄作総理大臣から「明日の日本を担う者としての気概と自信をもって」と言われると同時に国旗を受け取りました。その時の手の感覚は50年以上経った今も忘れることはありません。

▼奥野さんは第11回の「青年の船」事業にもリーダーとして参加されたそうですが、第1回に参加した時と比べてどのような変化があったのでしょうか？

→いい意味で時間の制約が緩くなったことですね。つまり、授業ばかりではなく、自主活動の時間が確保され、青年同士の文化交流で異文化理解力や想像力が養われたり、各々自国での活動を共有したりと、プログラムが多様化しました。第6回からは外国青年の参加も始まりましたから、異文化交流の要素も増えていきました。行先もASEANの国々だけではなく、オーストラリアやニュージーランド、米国など世界中に広がっていきました。

### 3.奥野さんにとって「青年の船」事業とは？

▼事業に参加して得たものとは何でしょうか？

→かけがえのない仲間に出会ったことです。事業中の53日間は毎日新鮮な驚きの連続でした。違った個性、背景を持つ300人弱の友人と過ごした経験は人生のターニングポイントでもあります。そして、事業に参加して50年近く経っていますが、今でも定期的に会っています。外国に行くことが難しかった時代にグローバルなものの見方や考え方を身に付けることができたのは大きな自信となりました。また、この事業に合格したことが自分に自信を持つきっかけにもなりました。

▼奥野さんにとっての「青年の船」はどのようなものなのでしょうか？

→「船は魔法使い」。船は世界の縮図であり、私たちは運命共同体となって海の上を旅するのです。そこで得たものは一生の財産になります。海外からは、「万巻の書物に勝る教育」と称讃されました。これはこの「青年の船」事業が日本が世界に誇り得る素晴らしい「国家事業だ」という「証」なのではないでしょうか。そこにこの事業が50年以上続いている所以があり、グローバル化の現代にこそ青年たちに体験してほしいものです。

### 4.「世界青年の船」既参加青年、今後事業に参加する方へ

▼「世界青年の船」参加者として、私たちがすべきこととは何だとお考えでしょうか？

→ぜひこの素晴らしい経験を今後も多くの人に経験してもらえよう広めていってください。実はこの事業は過去何度か廃止の危機に陥っています。先人が必死につなごうとした「青年の船」という「素晴らしい宝物」を未来に引き継いでほしいですね。この事業が今後も続くよう私たちは船で学んだことを事業後、何らかの形で還元する必要があると思います。

▼今後「世界青年の船」事業に参加する青年に対し、どのような思いで参加してほしいですか？

→世界を舞台に大きく羽ばたいてください。夢を持ち、追い続け、絶対に諦めないこと。そうすればいつか「青年の船」での経験が血肉となってみなさんの背中を押してくれることでしょう。そして何より人との出会いを大切にしてください。事業を通じて出会う大切な仲間たちが人生を豊かにしてくれます。真の友情というかけがえのない財産に恵まれた得難い経験を全力で楽しんでください！

### ▷▷インタビューを終えて

この度、「青年の船」第1回参加青年の奥野さんにお会いしインタビューをさせていただきました。1968年に実施された事業は、戦後復興、東京オリンピックを終えたばかりの大きな過渡期に、夢を持つ青年たちが海外経験を得る貴重な機会であったことを知りました。奥野さんにお話を聞き、勇気づけられるとともにこの広報プロジェクトをはじめとした事後活動を積極的に実施していきたいと決意を新たにしました。

## 平成28年度「世界青年の船」参加青年(SWY29) × 給水アプリmymizu 佐々木珠里さん

「世界青年の船」事業に参加した佐々木さんは、事業でフィジーやニュージーランドといった太平洋諸島を訪れたことで環境への興味を強くし、その後ニュージーランドで環境科学と都市計画を学んだのち、給水アプリmymizuの初期メンバーとして活動しています。

聞き手：長末辰也(広報担当副会長)



### 日本の使い捨てプラスチック問題

日本は世界で2番目に使い捨てプラスチック製品の一人当たり廃棄量が多い国です。日本だけで地球の128周分に相当する250億以上のペットボトルが毎年生産されています。そのうち毎年約39億本のペットボトル(15.6%)がリサイクルされずに焼却または埋立地に送られる形で処分され、もしくは水路や海洋に流されています。ビーチに散乱したプラスチックゴミを減らし環境負荷の少ない暮らしを広げていくことを目標にしたmymizuというアプリが作られました。



### mymizu(マイミズ)とは？

マイボトルに無料で給水できる場所をスマートフォン上で簡単に探せるアプリサービスです。ペットボトルの消費量を削減し、日本をはじめ世界中で環境の持続可能性を実現するための活動を推進することを目標に掲げ活動しています。このアプリは、公的な水飲み場やパートナー店舗(カフェ、レストラン、ホテル)など国内外合わせて19万8000ヵ所以上、そして登録された給水スポットでペットボトル入りの飲料水を購入する代わりに、マイボトルに給水することを可能にしています。これまでにiOS版、Android版合わせて2万5000回を超えるダウンロードを記録しました。飲める水道水というインフラは確立しているので、ユーザーと共に作り上げるデータの共有、ペットボトル使用量削減を目指す日本発のアプリとなりました。ユーザーは給水スポットを見つけたらアップデート、お店側も自ら発信することでブランドイメージの強化、来訪客の増加、コミュニティとのつながり強化を図ることができます。

### mymizuの目指す世界とは？

現在、20人ほどで活動、日本国内にとどまらず、バンクーバーやシンガポールにもメンバーがおり、mymizuアプリを利用してもらうことでゴミや気候変動の問題解決に寄与するプラットフォームとなることを目指しています。



「一人一人の活動は小さくシンプルなものであっても、みんなで頑張れば大きな影響をもたらすことができる」という考えの下、企業や大学、省庁などにおける講演会・セミナーなど啓発活動も実施しています。国内外に100人を超えるアンバサダーやボランティアを抱え、その活動は広がりを見せています。さらには、ペットボトル使用量を減らす次のステップとして電力を再生可能エネルギーに換えるサービスを電力会社との連携により始めました。mymizuを通して手続きをすると、mymizuの活動資金になる仕組みです。

### 事業参加の経験をこの新たな挑戦にどう活かしているか？

「世界青年の船」事業や留学を通して、社会の中で人をどう動かしていくか、どうチェンジメーカーになるかということに関心を持つようになったという佐々木さん。mymizuチームも多様なメンバーが集まって活動することでより大きな可能性を持った場所となっているそう。「これは『世界青年の船』の船内での活動ととても似ていて、日々楽しく活動しています」。先日は、SWY29の同期が活動している府中市のコミュニティ施設にて、環境啓発イベントでmymizuブースを出しました。昨年末に実施したクラウドファンディングでもIYEOのつながりから応援してくれる仲間がいるなど、事業参加時の経験や得たつながりを基に活動しています。mymizuの活動参加に興味がある方、コラボできる方はお気軽にご連絡ください。julie@mymizu.co

地球に優しい、サステイナブルな暮らしって海外から入ってくるイメージだけど、江戸時代の日本人の暮らしはとてもサステイナブル。毎日の生活の中で、ちょっと環境にいいこと、見直してみませんか？

参考リンク：<https://motor-fan.jp/article/10013310> (mymizu)

## 第45回「東南アジア青年の船」× #I am a peace warrior 桑圭祐さん

第45回「東南アジア青年の船」事業に参加した桑さんは、他の事業参加者とともに平和構築活動として「#I am a peace warrior」運動をしています。その活動の一部を紹介させていただきます。

聞き手：長末辰也(広報担当副会長)



第45回事業参加者によって2018年度に立ち上がった「#I am a peace warrior」は、平和構築活動としてその幅を広げています。2019年3月には、日本代表青年が高校教師のフィリピン代表青年を介して、フィリピンのターラックにある現地校を訪問しました。現地の高校生と「平和とはなにか、自分はどうのように平和に貢献できるか」についてディスカッションをし、現地の高校生たちによって希望を込めて制作された4000羽の折り鶴を受け取りました。その折り鶴を日本で献納してほしいとの依頼もあり、幾つかの日本の学校と共同で活動を行い、2019年5月に岡山県玉野市立日比

中学校3年生と沖縄平和記念公園へ千羽鶴共同献納、2019年9月に長崎市立西浦上中学校と長崎平和公園への共同献納、2020年2月に広島にある私立ノートルダム清心高校の平和同好会P-stepと広島平和記念公園へ共同献納を実施しました。活動に参加した日本の生徒からは「今度は、自分自身が平和を伝えられる人になりたい」という声も寄せられました。今後は、第46回事業参加者の活動も含め、幅を広げていく予定です。

# 特徴的な活動

## 【祝】令和2年春の叙勲 ウィスイット・デッカムトーン(Mr. Visit Dejkumtorn)さん

令和2年春の叙勲において、第2回「東南アジア青年の船」事業のタイの既参加青年であるウィスイット・デッカムトーン(Mr. Visit Dejkumtorn)氏が、日本とタイを始めとするASEAN各国との間の青年交流及び友好親善に寄与した功勞を讃えられ、旭日双光章を受章されました。



ウィスイット・デッカムトーン氏は、1975年に第2回「東南アジア青年の船」事業にタイ参加青年として参加した後、1988～1992年に「東南アジア青年の船」事業のタイにおける事後活動組織ASSEAY Thailand会長を務めました。現在は、ASSEAY Thailand顧問を務めています。

1991年には、自身のネットワークを活かして非営利団体ファンド・フォー・フレンズ(Fund for Friends:FFF)を設立し、「希望あふれる子供たちのためのプロジェクト(For Hopeful Children Project: FHCP)」を立ち上げました。このプロジェクトでは、孤児や難民、山岳少数民族、障害を持っている子供たちなど、社会的困難を抱える子供たちを「希望あふれる子供たち(Hopeful Children)」と呼び、タイ全国各地の「希望あふれる子供たち」を招いて、海水浴などの活動を含む



宿泊型キャンプを行っています。プロジェクトの立ち上げ以来、現在まで30年にわたり毎年実施され、現在では、タイだけでなく、日本や東南アジア各国からも多くの子供たちやボランティアが集まり、参加者総勢1,000名を超える一大プロジェクトとなっています。日本からは、2008年から毎年、(一財)青少年国際交流推進センターが実施するタイ王国・スタディツアーの参加者(大学生及び社会人)が、FHCPのボランティア・スタッフとして現地の実行委員と協働しながら、日本とタイの友好関係や連携強化に加わっています。

ウィスイット・デッカムトーン氏は、長年にわたる日本・タイ間及び世界各国との青年交流の促進に寄与した実績が認められ、2004年にはSSEAYP International Award、2013年にはプラチャボーディ賞(Prachabordi Award)を受賞されています。



## 【ウィスイット・デッカムトーン氏メッセージ】

美しい世界とは、人々が皆前向きで、友情に満ちあふれた世界である。「運河を渡ったら、橋への感謝を忘れるな。」という格言がある。では、もしあなたが、海を越え、赤道を越えて、6か国を巡る旅に連れていってもらったら、あなたは、その旅に連れ出してくれた方に感謝をするだろうか。

日本政府が始めた「東南アジア青年の船」事業に、私は、今から45年前の1975年に参加した。この事業を通して私は、好奇心旺盛な青年時代に6か国を訪れ、それぞれの国の若者たちとの友情に花を咲かせる機会を得ただけでなく、人生を変えてしまうような貴重な出会い、それも人との出会いだけでなく国際的・専門的な事業運営の方法との出会いを経験した。この経験が、今の私の価値観や信念を築き上げたのだ。そして、1975年に種をまいて発芽した仲間たちとの友情は、今日に至るまで、甘い香りを放ちながら素晴らしい花を咲かせ続けている。

当時はASEAN5か国の友人ができ、その後、今ではASEAN10か国に広がっている。日本の友人は数え切れず、日本全国各地に住んでいる。2003年には、「東南アジア青年の船」事業第30回記念フォーラムにおいて、事後活動組織を代表して挨拶をするという栄誉を得た。そこで私が強調したのは、「私たちは正しい軌道に乗っている」ということだ。

「親切はお返しなさい。恨みは許しなさい。」という言葉がある。親切はお返し、恨みは許して初めて、私たちは真に幸せな世界に生きることができるようになる。長く続く友情を育てるといえるのは、そういうことなのだろう。今回私の業績が認められ、旭日双光章受章という大変な栄誉を受け、日本政府に感謝したい。また、個人的には、私の日本の友人たちが、私のやってきたことの価値を高く評価してくれ、今回の推薦してくれたことを誇りに思う。

私たちは、個人のレベルから始め、友情を促進するという、正しい軌道に乗っている。この努力の一端を担うことができることを幸せに感じる。友情、理解、そして笑顔にあふれた世界を築き上げるという共通のゴールに向かって、進んでいこう。

「グローバル・スマイリング(地球笑顔化)」を目指そう。恨みを越え、誤解を越え、運河に渡る橋をかけよう。

ウィスイット・デッカムトーン

Visit Dejkumtorn

The beautiful world is the world of friendship; is the world full of people who are positive and friendly to each other.

There is a saying which reads: After crossing the canal, do not forget to thank the bridge. And, if there's anyone taking you across oceans, seas, crossing the equator over to lands of six countries, would you want to thank them?

The Ship for Southeast Asian and Japanese Youth Program initiated by the Government of Japan, on which I set sail 45 years ago in 1975, not only provided me the opportunity to spend my inquisitive younger days in six different countries getting to know fellow young minds from those lands and nurturing the blooming friendship throughout the program, but also to experience valuable and life changing encounters with both human resources and professional administration at the international level. These have resulted in the values and belief system of the person who I have become. Another flower long sprouted and grown from that seed of opportunity is our sustained friendship among the program members. It budded first in 1975 and has been blooming with sweet fragrance with medicinal qualities until this day.

I started with having friends in five ASEAN countries, now grown into ten. I have so many Japanese friends spreading in various locations all over Japan.

In 2003, I was greatly honored to represent all the participating members of the SSEAYP Alumni Association in commemorating the 30th years of the program. The key phrase emphasized in my speech was "we are on the right track."

Once a learned man said, "Kindness must be repaid; resentment must be forgiven." Our living world can only become a truly happy home only when we dedicate ourselves both to repaying kindnesses given to us, and also to forgiving those whose wrongs have harmed us. Only then can we create and nurture lasting friendship.

I would like to express my deep appreciation to the Government of Japan for bestowing upon me "The Order of the Rising Sun, Gold and Silver Rays" in recognition of my work. This is truly a great honor. And on a personal level, I am proud to know that my Japanese friends value what I have worked on and that they proposed my name for such an honor.

We are on the right track in promoting friendship by beginning at the level of the individual. I have been happy taking part in this endeavor. I hope that all of us will actively pursue the shared goal of building our world community of friendship, understanding and full of smiles!

Let's work hard toward "Global Smiling!" Let's build bridges crossing canals-crossing resentment, crossing misunderstanding!

# 中華人民共和国駐日本国大使館へ 新型コロナウイルスによる被害に対する募金



中華人民共和国では、2019年12月以降に湖北省武漢市で新型コロナウイルス(COVID-19)による肺炎が発生し、被害が拡大し全国各地において道路の封鎖や外出規制なども行われ、人口約1100万人の武漢市は数週間にわたって封鎖されるなど、甚大な被害が発生しました。こうした事態において、中国派遣同窓会より日本青年国際交流機構(IYEO)に募金活動の要請があったことを受け「日本青年国際交流機構大規模災害支援積立金に関する内規(※)」に基づき、「新型コロナウイルス(COVID-19)による被害に対する募金」のために大規模災害支援積立金の適応をすることを決定しました。寄付金は、新型コロナウイルスの感染対策支援に使っていただけるよう、中国派遣同窓会会長 竹林義久、IYEO副会長 本田温子、IYEO国際担当幹事 小田玲美、中国派遣同窓会運営委員 相澤彩子の4名が3月27日、中華人民共和国駐日本国大使館へお届けいたしました。

倪健政治部公使参事官に目録と支援金をお渡しし、新型コロナ

ウイルスの感染対策支援に役立てていただくこととなります。

倪健参事官は「日本・中国青年親善交流」事業とも関わりが深く、2019年度は事前研修及び中国青年招へいの際にお話しいただきました。今後も事業や同窓会活動において大使館と連携していきましょうというお話を頂きましたので、中国派遣同窓会運営委員の方でも何かイベントを開催できたらと考えています。

中国に限らず、日本や欧米でも新型コロナウイルスの影響による混乱が発生しています。落ち着かない毎日ですが、こんな時こそ各国が手を取り合い、この困難を乗り越えていきましょう。 **全世界加油!** (訳:全世界がんばれ!)



## (※)大規模災害支援積立金とは?

「IYEO大規模災害支援積立金」は、2005年(平成17年)5月に発生したジャワ島中部沖地震の救援募金活動をしたことをきっかけに、2006年(平成18年)に制定された制度です。この制度は、IYEOと緊密な関係を有する国内外における機関、組織及

び役員、会員等が、大規模な災害等によって罹災した際に、都道府県IYEOまたは各国の事後活動組織の要請を受けて、IYEOとして速やかな支援活動に取り組みことを目的として制定され、これまでに17件の実績があります。

## その後の報告

新型コロナウイルス(COVID-19)による感染拡大は世界中に広がり、日本でも緊急事態宣言が発令されることとなりました。こういった事態を受け、5月に入り、中華人民共和国駐日本国大使館から、「新型コロナウイルスによる被害に対する募金」のお礼として、マスクをいただきました。また、IYEOの団体会員である認定NPO法人東京都日中友好協会からもマスクをいただき、計2500枚のマスクの寄贈を受けました。

IYEO事務局では、これらのマスクを有効活用するべく協議し、中国からいただいたマスクであることもふまえ、「日本・中国青年親善交流」事業の中国青年招へいの際などで協力いただいた「社会福祉法人 江東園」にすべて寄贈いたしました。「最前線のヘルパーさんらのマスクが不足しているの、需要のある現場に迅速に渡すことができ、大変よろこんでいる」と江東園の職員の方からお礼状も受け取りました。

IYEO会員の皆さまの中国への御支援が、日本国内への支援に還元され、IYEOとしての中国とのつながりが活かされた結果となりました。御協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



マスクを受け取った江東園職員

中国大使館から寄贈されたマスクに掛けられたメッセージ「一衣帯水 同舟共済(訳:隣国どうし互いに手を取り合い、この困難を乗り越えましょう)」



# 国際的な活動

日本青年国際交流機構(IYEO)の活動は、日本国内だけではなくありません。内閣府青年国際交流事業に参加した青年たちは、国際的なネットワークを築いています。今回は、「世界青年の船」事業、「日本・中国青年親善交流」事業及び「日本・韓国青年親善交流」事業の同窓会組織について紹介します。

## SWYAA国際連盟、新体制で活動開始!

SWYAA国際連盟は2020年1月から新体制で活動をスタートしました。新たに3人が加わり、各国の活動活性化や広報の強化に取り組んでいきます。

### 「世界青年の船」事業 事後活動組織 (SWYAA) 国際連盟 事務局

- ・ 国際連盟加盟各国との各種連携
- ・ 東京連絡会議開催の際の会議進行
- ・ VSIR開催に関する連絡・進行
- ・ 青少年国際交流推進センターやIYEOとの連携
- ・ Global Assembly開催国へのアドバイス

事務局長



齋藤 珠恵

Secretary General

事務局次長



吉村 茂子

#### Administration Team 管理チーム



中沢 聖史

経費

- ・ 年会費の受領
- ・ 収支決算書
- ・ ロジスティックス
- ・ 東京連絡会議開催の際の事務
- ・ 各国代表者のメーリングリスト管理 等

事務局次長



深作 光輝

#### Promotion Team 広報チーム



小野 かつみ



仲間 明子

広報

- ・ SWYAAウェブサイトの更新
- ・ SNSを通じた広報活動
- ・ 事後活動
- ・ 事後活動の推進
- ・ 活躍する既参加青年の情報の集約

### SWYAAとは?

「世界青年の船」事業の同窓会組織で、「Ship for World Youth Alumni Association」の略称。「世界青年の船」事業の核である異文化理解、国際協力、国際平和の実現に向けてのリーダーシップ精神を継続させることを目的に、SWY参加各国にAAが設立されています。そのネットワークを取りまとめる国際連盟の事務局が日本に置かれ、各国AAの活動やAA間連携のサポートをしています。各国AAはこれまで、災害復興活動への寄付(Natural Disaster Relief)や、教育支援(Educate Tomorrow)、献血週間キャンペーン(Blood Donation Week)などの活動を行ってきました。SWYの国際ネットワークを活用して何か活動をしたときは、ぜひ事務局にご相談ください。

### ●各国の代表によるオンライン決議

毎年2回行われる各国の代表による投票、VSIR (Voting Session for International Representatives)を受けて、SWYAAとしての活動が決まっています。2020年度第1回の投票は5月末に行われました。

### ●新しい「SWY FOREST」を計画中

「世界青年の船」事業20周年を記念して始まった「SWYロゴシャツ」の販売収益は、これまでインドネシアのバリ島と岩手県陸前高田市での植林活

動に充てられてきました。SWYAAでは販売収益をもとに、新たな「SWY FOREST」をつくることを計画中。新しいSWYの森をお楽しみに!

### ●FBアカウントができました!

SWYAA 国際連盟事務局のFacebookアカウントができました。世界各国の既参加青年の活動について発信していきますので、ぜひフォローしてください!



## 中国派遣団同窓会の活動

会則と役員が決定!

中国派遣団同窓会では、組織的活動の発展と継続のため、2020年1月に行われた総会にて会則を設けることを決定し、4月1日より施行しました。それに伴い、新たに役員を任命し、活動を進めています。

### 新役員一覧

(2020年5月現在)

役職	氏名	参加年度・回数
会長	竹林義久	2015年度(37回) 団長
副会長	北田誠治	2004年度(26回)、2011・2017年度(33・39回) 副団長
事務局長	小田玲実	2007年度(29回)、2013・2015年度(35・37回) 渉外
会計	秋葉直弘	1998年度(20回)、2018年度(40回) 副団長
運営委員	藤井尚志	1997年度(19回)
	青山絵美子	2005年度(27回)、2006年度(28回) 渉外
	長谷川智大	2008年度(30回)
	大上恵	2009年度(31回)
	伊藤洋平	2009年度(31回)、2013年度(35回) 渉外
	椎原理奈	2013年度(35回)
	坂井華海	2014年度(36回)
	興水凜	2015年度(37回)
	相澤彩子	2019年度(41回)
	齋藤友里奈	2019年度(41回)
監査役	野村隆紹	1994年度(16回)

### 日中友好大学生訪中団に参加しました!

2019年12月20日~12月24日、日中青少年交流推進年を記念し、日本の大学生が中国の大学生との交流を通して相互理解を深め、日中両国の善隣友好の絆をより強いものにしていくため、公益社団法人日本中国友好協会にて選抜された200名の学生が中国を訪れました。

認定NPO法人東京都日本中国友好協会から代表青年の推薦依頼があり、IYEOから8名の学生が派遣されました。同協会とIYEOは、



人民大会堂で行われた「日中大学生千人交流」

日中友好大学生訪中団 IYEOからの派遣者  
阿部初音(2017年度・39回)、川島千里(2018年度・40回)、三浦彩由香(2018年度・40回)、齋藤友里奈(2019年度・41回)、佐々木翔(2019年度・41回)、澤村瑛(2019年度・41回)、中悠汰郎(2019年度・41回)、村松真衣(2019年度・41回)

## 日韓交流連絡会議の活動

日韓交流連絡会議は、「日本・韓国青年親善交流」事業の既参加青年を中心とした同窓会組織です。毎年1回、日本か韓国のどちらかで宿泊形式の交流会を開催しており、2019年度で16回目となりました。2019年度日韓交流連絡会議は、2020年2月22・23日に東京のオリンピック記念青少年総合センターで開催され、日本青年42名、韓国青年12名、合計54名が参加しました。

これまでは討論会を中心として活動していましたが、学生や若い世代にも気軽に参加してほしいという思いのもと、今年は「交流」をメインに、アイスブレイクや懇親会、Working Session(東京タワーデッキツアー、エビスビール記念館見学、藤子・F・不二雄ミュージアム見学、オリンピックセンター室内でのプログラム)などを行いました。

毎年日韓両国の青年らが集い、国や世代を超えた交流を楽しむことができる日韓交流連絡会議。今後も、人と人の繋がりを大切に、長く続けていくことを目指しています。



### FB・インスタアカウントができました!

運営委員によりSNS運営も開始しましたので、ぜひフォローをお願いします!



Facebook  
<https://www.facebook.com/iyechina/>

Instagram

[https://www.instagram.com/japan.china\\_alumni/](https://www.instagram.com/japan.china_alumni/)



2019年度より相互に団体会員となり、主に中国に関する活動について連携を進めています。

「百聞は一見にしかず」という言葉があるように、今回の派遣でも日本で抱いていた中国人に対するイメージとは全く異なる優しさや大らかさについて知ることもできた。中国に初めて来た団員も皆が中国を好きになったと喜んでおり、今回の訪中団の意義を強く感じた。」(中悠汰郎)



北京市にある世界遺産「天壇」を見学



# 都道府県IYEOの魅力的な活動

日本青年国際交流機構(IYEO)は、各都道府県に青年国際交流機構を組織し、各都道府県が実施している青年国際交流事業に参加した青年たちとも連絡を取りながら活動しています。

都道府県ごとのIYEO会員数は100~1,800名と幅広く、それぞれの活動の規模や内容は様々です。都道府県IYEOの活動を紹介します。



マレーシアの事後活動組織SIMとのFriendshipツアー。通常の観光とは異なり、マレーシアを深く知れた。

Friendship tour in Malaysia 2020 (北海道)



「ゲームを通して、普段自分のしていることが、他の国の子供の生活に影響していると初めて知った。」  
(参加した中学生の声)

SDGsセミナー(青森県)



三重とベトナムの小学生同士の交流が始まり、資金を募ってオリジナルの絵本を作成

バンバンプロジェクト(三重県)



世界青年の船受入  
お好み焼きづくり(広島県)



東南アジア青年の船県行表敬訪問  
いいじゃん神奈川Tシャツ(神奈川県)

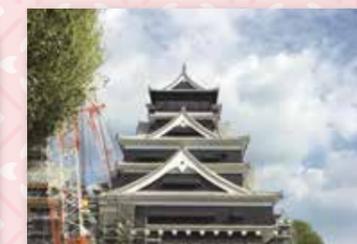
参加青年全員にTシャツを配り大好評



English Cafe(長野県)



慶南青年カレッジ(山口県)



令和2年度第36回全国大会お待ちしております(熊本県)



プログラム参加後も日本と海外との懸け橋として活躍

既参加青年再来日を機に開催したトルコ理解講座(富山県)



四国ブロック大会 徳島商業高校ビジネス研究部による活動報告(徳島県)



九州未来フェスティバル  
内閣府青年国際交流事業の紹介(福岡県)



令和元年度第35回全国大会 基調講演(京都府)

## 2020年度ブロック大会開催一覧(予定)

ブロック	開催県	開催日
北海道・東北	福島県	8月22日
東海	静岡県	10月3日~4日
九州	熊本県(全国大会)	12月5日~6日
中国	広島県	1月16日~17日
近畿	奈良県	2月13日~14日
北信越	石川県	3月6日~7日
四国	高知県	3月14日
関東	神奈川県	1~3月(調整中)

2021年

※今後変更の可能性があります。詳しくはHPをご覧ください。



<https://www.iyeo.or.jp/about-us/schedule/>

## 活動事例

- ★各都道府県の特徴を生かした独自の活動を実施
- ★事後活動研修の場として
  - 全国大会開催 ●ブロック大会開催
- ★チャレンジしたい青年へ
  - 事業説明会 ●試験に向けたアドバイス会 ●派遣者壮行会 ●帰国報告会
- ★内閣府への協力
  - 内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ ●参加青年募集協力

## 2020年度内閣府青年国際交流事業の受入(予定)

事業	日程	受入県
日本・中国青年親善交流	10月26日~11月1日	鳥取県、和歌山県
日本・韓国青年親善交流	9月15日~21日	徳島県、富山県
東南アジア青年の船	10月30日~11月2日	栃木県、山梨県、福井県、千葉県、神奈川県、新潟県、愛知県、三重県、島根県、長崎県、鹿児島県
世界青年の船	1月21日~24日	青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県
国際社会青年育成	2021年 1月23日~31日	秋田県、京都府、高知県、香川県
地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」	2月5日~11日	鳥取県、北海道函館市、岡山県

※今後変更の可能性があります。詳しくは内閣府HPをご覧ください。



<https://www.cao.go.jp/koryu/index.html>

## IYEO活動方針

# 共生社会の実現に向けて、生きる力を発揮しよう

人々の交流がより一層スピード感を持ち、混ざり合うこれからの社会においては、幅広い視野をもって柔軟に新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされています。私たちは、世界につながるIYEOの全国ネットワークを活用し、青少年及び広く一般を対象に、多様な価値観と出会う楽しさを作り続けることによって、地域の国際化と次世代リーダーの育成を目指します。



### 日本青年国際交流機構 (IYEO) 会長挨拶 高下正晴

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、日々状況が目まぐるしく変化しています。今は小さく身を縮めて、我が身を守り、耐えるしかありません。私たちIYEOの活動が、いかに人と人を繋ぐものであったかという事を思い知らされます。

しかし、こういう状況の下でやむにやまれずという面はあるにせよ、オンラインである程度のことごとくが分かってきました。直接人と会うことはできませんが、オンラインで議論したり、作業を進めたりすることはできそうですし、オンラインで行うことを前提とした構成のイベントにすれば、これまでわざわざ会場に出向くことができなかった人々も参加できる可能性が広がります。できることは限られています。新しい交流の形が生まれるかもしれません。こういった工夫をしながら、今後しばらくの間の活動を進めていく必要があります。

さて、令和元年度はこれまでの入会の仕組みを大きく見直しました。これまでは入会金として30,000円をいただきIYEOのさまざまな活動に使わせていただいておりますが、活動を始める前の段階ではどのような活動に使われているか分からず、入会する者にとってどのようなメリットがあるかよく分からないまま払うのは抵抗があるという意見をいただいていた。

これを受けて、IYEOに新たに加わる内閣府事業参加者が事後活動を始めやすいように、事業参

加後3年以内の会員の全国大会やブロック大会への参加費を無料にし、若い会員が参加しやすく地域にも開かれたイベントを企画する都道府県IYEOを支援する原資に充てることを明確にしました。こういった「IYEOの活動に加わろうとする入口の部分」を支援する「事後活動研修費」として30,000円をいただくことを見直しました。

この取組は始まったばかりですが、事業に参加したばかりの若い会員が溶け込みやすくなるようにイベントの導入部分に工夫を凝らしたり、若い会員同士が独自の繋がりを活かした新たな活動を始めたりと、新しい動きが着実に生まれつつあります。今後もIYEOの活動が新鮮な刺激にあふれ、さらに魅力を増していくことができるようにしていきたいと考えています。

とはいえ、こういった新たな取組も、今の状況下では当初の予定どおりには進めにくい現実もあります。今だからできること、今しかできないことを、工夫しながら進めていきたいと思っています。

そして、この新型コロナウイルスとの戦いが終わるときには、お互いに助け合うことや、国際的な連携を強めることの重要性を、みんなが強く認識しているはず。そのときに私たちの力をしっかりと発揮できるよう、力を蓄え、できる準備をしっかりとしておきたいと思っています。

みなさん、ともにこの状況を乗り越えていきましょう。

### 国際交流分野 (国際交流・地域)

#### 1. 多様な交流で地域と世界の距離を縮めよう

自分の暮らす地域への理解を深め、地域への誇りと当事者意識を持ち、国際交流活動を推進します。

### 青少年育成分野 (青年・人づくり)

#### 2. 次世代のグローバルリーダーを育てよう

世界各国との交流や視野を広める機会を青年と共に作り、青少年の国際的な友好や相互理解の促進と協調精神を高めることで、地域から世界に向けてグローバルに活躍する次世代のリーダー人材を育成します。

### 社会貢献分野 (地域・社会貢献)

#### 3. 多様な関係者と協働し社会課題を解決しよう

会員のリーダーシップ、ネットワーク、専門性を活用し、社会課題の解決に取り組むことで、地域に暮らす一人一人が人間性を高め、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現に貢献します。

## IYEO活動分野

- 第1分野 青少年分野についての活動の啓発
- 第2分野 地域の活性化に資する活動
- 第3分野 地域における国際交流活動を基本にした人材育成
- 第4分野 内閣府青年国際交流事業の受入れへの協力及び自主事業による外国青年受入れ/日本青年の派遣
- 第5分野 都道府県IYEO及び会員のネットワーク強化と活性化
- 第6分野 国際協力活動
- 第7分野 内閣府青年国際交流事業の外国参加青年とのネットワーク
- 第8分野 広報活動への積極的取組
- 第9分野 財政基盤及び組織体制確立

## What is IYEO?

### ●私たちは何者か?

私たちは、青年期の国際交流を共通体験とする多世代で構成され、地域と世界をつなぐ社会活動に取り組む団体です。

### ●私たちはどんな活動をしているか?

国際交流の共通体験から人的ネットワークやそこから生まれる物事の価値を信じ、地域の共生社会の実現に向けた多様な交流プログラムを企画運営しています。

### ●私たちの団体の特徴?

青年国際交流事業を通じて国や都道府県との連携を大切に、互いに協力したり、意見したりできる関係性を強めています。



# IYEO組織構成 IYEO Organization Structure

IYEOは、ボランティアメンバーによる任意団体で、ボランティア(無償)の役員による運営をしており、本部役員と47都道府県ごとに組織を置いています。また、運営委員会は本部活動の執行機関として、機関決定に従って活動を行うとともに、本会の活性化に資する自主的活動を幹事会の承認の下に行っています。

## 〈47都道府県8ブロック制〉 都道府県IYEO会長

令和2年5月1日現在

【表記について】

- 2020年6月1日現在 最初に参加した事業を掲載
- 事業略称:航空機派遣(派遣先)、青年の船(船)、東南アジア青年の船(東ア)、世界青年の船(世界)、青年社会活動コアリーダー育成事業(コア)、県単派遣事業(県単)

新潟県青年国際交流機構 小林 恵子 H10世界(11回) niigataiyeo@gmail.com  
 富山県青年国際交流機構 飯田 良智 H26コア(13回) toyamaiyeo@gmail.com  
 石川県青年国際交流機構 薄井 壮登志 H11世界(12回) iyeo.ishikawa@gmail.com  
 福井県青年国際交流機構 峯田 雅朗 H18コア(5回) fukuiyeoh21@yahoo.co.jp  
 長野県青年国際交流機構 福永 理和 H7東ア(22回) iyeonagano@yahoo.co.jp

滋賀県青年国際交流機構 寺岡 実紅 R01世界(32回) shigaiyeo@yahoo.co.jp  
 京都府青年国際交流機構 荒田 圭久 H1世界(2回) kyotoiyeo@hotmail.co.jp  
 大阪府青年国際交流機構 岩井 美紀江 H13世界(14回) osakaiyeo@gmail.com  
 兵庫県青年国際交流機構 中嶋 健太 H10日韓(12回) iyeo.hyogo@gmail.com  
 奈良県青年国際交流機構 長谷部 花観 H26ラオス(21回) iyeo.nara@gmail.com  
 海友会(和歌山) 塚 隆和 近畿青年洋上大学 kaiyukai.iyeo@gmail.com

とっとり青友会 河崎 忠義 H6東ア(21回) tottorisykiyeo1970@gmail.com  
 国際ネットワークしまね 高橋 真理子 H16世界(17回) inshimane@gmail.com  
 岡山県青年国際交流会 長木 愛 H12東ア(27回) okayamaiyeo@hotmail.co.jp  
 広島県青年国際交流機構 佐藤 孝志 H13日中(15回) hirosima.iyeo@gmail.com  
 山口県青年国際交流機構 山田 耕慈 H18世界(19回) iyeoyamaguchi@gmail.com

### 九州ブロック 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

福岡県青年国際交流機構 有吉 美幸 H22カンボジア(17回) iyeo.fukuoka@gmail.com  
 佐賀県青年国際交流機構 古財 夏実 H24ラトビア(19回) sagaiyeo@gmail.com  
 長崎県青年国際交流機構 山田 公美 H16コア(3回) ※hq@iyeo.or.jp  
 熊本県青年国際交流機構 生野 朋子 H26SWYリーダーズ kumamotoiyeo@gmail.com  
 大分県青年国際交流機構 田中 一旭 H24コア(11回) oita.iyeo@gmail.com  
 宮崎県青年国際交流機構 荒武 千穂 S58東ア(10回) ※hq@iyeo.or.jp  
 鹿児島県青年国際交流機構 瀬戸山 寛 H24コア(11回) kagoshimaiyeo@gmail.com  
 沖縄県青年国際交流機構 岸信 朋 H24世界(25回) okinawa.iyeo@gmail.com

### 北信越ブロック 新潟 富山 石川 福井 長野

### 近畿ブロック 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山

### 中国ブロック 鳥取 島根 岡山 広島 山口

### 北海道・東北ブロック 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島

北海道青年国際交流機構 平中 沙也香 H28世界(29回) hokkaidoiyeo@yahoo.co.jp  
 青森県青年国際交流機構 松浦 淳 H22コア(9回) aomoriyeo2015@gmail.com  
 岩手県青年国際交流機構 高橋 直幸 H21世界(22回) iwateiyeo@yahoo.co.jp  
 宮城青年国際交流機構 早坂 玲美 H22韓国(24回) miyagi.iyeo@gmail.com  
 秋田県青友会 齊藤 豊太 H29シップフォーワールドユースリーダーズ iyeo.akita@gmail.com  
 山形県青年国際交流機構 堀野 那菜 H21東ア(36回) iyeoyamagata@gmail.com  
 船と翼の会ふくしま 溝井 彩夏 H29東ア(44回) funetotubasa@hotmail.co.jp

### 関東ブロック 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨

茨城県青年国際交流機構 岸田 まりな H26ラオス(21回) ibaraki.iyeo@gmail.com  
 栃木県青年国際交流機構 熊倉 百合子 H15日中(25回) tochigiyeo@gmail.com  
 群馬青友会 青木 優子 H10日中(20回) gunma\_seiyukai\_iyeo@yahoo.co.jp  
 埼玉県青年国際交流機構 富田 美和子 H11世界(12回) saitamaiyeo@gmail.com  
 千葉県青年国際交流機構 石原 裕文 H19カンボジア(14回) chibaiyeo@gmail.com  
 東京都青年国際交流機構 神戸 知子 H13東ア(28回) tokyoiyeo@yahoo.co.jp  
 神奈川県青年国際交流機構 大野 裕章 H17東ア(32回) iyeokanagawa@gmail.com  
 山梨県青年国際交流機構 村松 智子 H16東ア(31回) yamanashiyeo@googlegroups.com

### 東海ブロック 岐阜 静岡 愛知 三重

岐阜県青年国際交流機構 大野 麻未 H17世界(18回) iyeogifu@gmail.com  
 静岡県青年国際交流機構 山口 貴美 H28世界(29回) shizuoka.iyeo@gmail.com  
 愛知県青年国際交流機構 高木 善英 H15コア(2回) info@iyeo-aichi.jp  
 三重県青年国際交流機構 川村 奈穂 H17日韓(19回) mie-iyeo@hotmail.co.jp

### 四国ブロック 徳島 香川 愛媛 高知

徳島県青年国際交流機構 清水 友紀 H16日韓(18回) iyeo\_tokushima@googlegroups.com  
 香川県青年国際交流機構 菅 圭介 H15世界(16回) kagawaiyeo@gmail.com  
 愛媛県青年国際交流機構 長瀬 智\_寛 H29世界(30回) e-iyeo@hotmail.co.jp  
 高知県青年国際交流機構 前田 正也 S55船(14回) kochi.iyeo@gmail.com

### IYEO本部役員一覧

令和2年4月1日現在  
\*は運営委員会構成員

役職	氏名	参加事業	役職	氏名	参加事業
会長	高下 正晴	H2世界(3回)	幹事		
副会長(組織)	本田 温子	H10世界(11回)	事務局長	副会長(組織)兼任	
副会長(広報・PR、活性化)	長末 辰也	H12世界(13回)*	幹事(地方)	樋口 敦子	H5世界(6回)
副会長(地方)	佐々木 裕子	H12世界(13回)	幹事(船事業)	田島 如子	H11東ア(26回)
副会長(国際)	小島 まき子	H20世界(21回)	幹事(INDEX)	滝川 望	H19ドミ共
ブロック幹事			幹事(中国)	小田 玲実	H19日中(29回)
北海道・東北	伊勢 みゆき	H12世界(13回)	幹事(韓国)	宮城 和希	H28日韓
関東	大野 裕章	H17東ア(32回)	幹事(活性化担当)	市川 高	H27ドミ共*
北信越	日南田 美幸	H3世界(4回)	幹事(広報・PR)	仲間 明子	H28SWYリーダーズ
東海	白木 邦貞	H17世界(18回)	監査		
近畿	寺西 由佳	H12世界(13回)	監査役	野村 隆紹	H6日中(16回)
中国	池田 俊貴	H20コア・イギリス(7回)	監査役	吉岡 誠	H21日韓(23回副団長)
四国	藪田 ひとみ	H11世界(12回)	顧問及び参与		
九州	村本 きよみ	H10世界(11回)	顧問	大河原 友子	S62東ア(14回)
			参与	中野 智昭	S61船(20回)
			参与	田中 克宜	S54アフリカ(21回)
			参与	上杉 聖次	S54船(13回)
			参与	白鳥 正信	H5東ア(20回)

### 運営委員会構成メンバー

氏名	参加事業	氏名	参加事業
犬尾 陽子	H18東ア(33回)	高木 佳代	H22韓国(24回)
中井澤 卓哉	H29東ア(44回)	谷津 貴映	H27東ア(42回)
中野 晃介	H30東ア(45回)	桶谷 正一	S62青年の船(20回)
吉村 茂子	H17世界(18回)	小池 茉那	H26世界(27回)
吉谷 絵理	H20世界(21回)	大森 悠真	H30東ア(45回)
竹中 里帆	H25育成(リトアニア)	黒田 知幸	H30世界(31回)
林 ひかり	H21世界(22回)	富島 佐紀	H20東ア(35回)
諏訪間 健	H27世界(28回)	増田 寿子	H15世界(16回)
中川 将	H27世界(28回)	古家 凌成	H31育成(メキシコ・ペルー)
樋口 尚子	H29世界(30回)		
横倉 萌子	一般会員		

# 「事後活動研修制度」

## を運用開始します!



IYEOでは、長年、内閣府青年国際交流事業に参加された皆さまがIYEOでの事後活動を始めるにあたり、永年会費的に3万円の入会金を納めていただいていたおりましたが、令和元年度の事業参加者から現在の「入会金制度」から「事後活動研修制度」に替え、若手の会員の皆さまの事後活動をこれまで以上にバックアップしていくことにしました。(令和元年8月全国推進会議にて決定)

従来の「入会金」と同額の「事後活動研修費」を納入していただき、事業参加後3年目までの若手会員の事後活動の参加の支援(ブロック大会、全国大会をそれぞれ1回無料で参加)や、新たに設立する「社会貢献活動基金」で会員の取り組みたい挑戦を応援していきます。

### [平成29年度、30年度に内閣府青年国際交流事業に参加した皆さま]

経過措置として、平成29年度、平成30年度内閣府青年国際交流事業に参加し、入会金を納付した皆さまも、令和2年度まで「事後活動研修制度」による事後活動の参加の支援の対象になりますので、この取組の主旨をご理解いただき、ぜひ活用してください。(入会金をまだ納付されていない方は、事後活動研修費の納入手続後、同様の支援を受けることができますので、「IYEO事後活動研修制度」を参考に登録ください。今からでも事後活動は始められます!)

IYEOには、やりたいことを実現する仲間がたくさんいます。それを強力に支える仕組みもこの度整備しました。ますます刺激的で、楽しいIYEOを共に創っていきましょう!

本件についての問い合わせ: IYEO事務局 [secretariat@iyeo.or.jp](mailto:secretariat@iyeo.or.jp)

## IYEO事後活動研修制度

### 1. IYEO事後活動研修とは

- ・内閣府青年国際交流事業に参加したばかりの青年が、事業で得た経験を活かしてスムーズに事後活動を始められるように支援する制度
- ・日本青年国際交流機構(IYEO)が内閣府との協力の下、毎年度8ブロックで行うブロック大会・全国大会を通じて、事後活動への研鑽を積み場を用意

### 2. IYEO事後活動研修制度による支援の内容

#### 【事後活動研修】

毎年全国8カ所で行われるブロック大会及び全国大会を地域での事後参加の入口と位置づけ、事業参加後3年間のブロック大会、全国大会にそれぞれ1回ずつ無料で参加

#### 【社会貢献活動基金】

IYEO会員主体の新たな事後活動プロジェクト発案などの意欲的な取組に対して、IYEOが内容や規模に応じて社会貢献活動基金により段階的に助成金を支給

### 3. 事後活動研修への参加方法

#### IYEO正会員(入会済み)の方

1. ブロック大会、全国大会参加申し込み時に、「直近3年度の事業に参加したIYEO正会員」であることを伝えると、参加費が無料(いずれも初回の参加が対象)になります。
2. 参加費が無料の期間は、事業参加から3年度以内です。

#### 未入会の方「MiiT+登録の流れ(IYEO)」

1. IYEO会員登録サービス「MiiT+」にアクセス <https://miiplus.jp/t/IYEO/>
2. 「MiiT+」の登録後、事後活動研修費(3万円)を決済、又は振込むことで、IYEO会員登録完了。正会員として事後活動研修へ参加可能となります。



平成29年度、平成30年度内閣府青年国際交流事業参加の皆さまには、令和元年9月に会員登録されたメールアドレス宛に、本件についてご連絡をしています。

目を閉じれば、

その光景がよみがえる。

いつまでも胸に残るクルーズを。



○詳しいパンフレットをご用意しています。最寄りの旅行会社または、下記へお問い合わせください。 ※営業日・営業時間は変更・短縮、もしくは延長される場合があります。

クルーズデスクフリーダイヤル 10:30~15:30(土・日・祝はお休みです) 〒107-8532 東京都港区赤坂1-9-13 三會堂ビル5階  
商船三井客船 ☎0120-791-211 <https://www.nipponmaru.jp>

撮影: 中村 風詩人